

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2002-92058 (P2002-92058A)  
 【公開日】平成 14 年 3 月 29 日 (2002.3.29)  
 【出願番号】特願 2000-282588 (P2000-282588)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/50 (2006.01)**

**G 0 6 F 17/10 (2006.01)**

**H 0 5 K 3/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 5 8 A

G 0 6 F 17/50 6 5 8 C

G 0 6 F 17/50 6 5 8 V

G 0 6 F 17/10 Z

H 0 5 K 3/00 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 9 月 14 日 (2007.9.14)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】請求項 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【請求項 3】プリント基板に配置されている部品に対して E M C を考慮した最適な配置がなされているか否かを計算する、プリント基板における部品の配置の計算装置において、

プリント基板上に配置される部品に対して、部品の信号端子が持つ電気特性であるスルーレートの計算を行う第 1 の計算手段と、

前記第 1 の計算手段により計算されたスルーレートと、

部品の電源 / G N D 端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、該部品の電源 / G N D パターンに応じた推奨距離を計算する第 2 の計算手段と、

前記第 2 の計算手段により計算された推奨距離と、

部品の電源 / G N D 端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、推奨距離と部品が配置された距離との適合割合を計算する第 3 の計算手段と

を有するプリント基板における部品の配置の計算方法。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 1 8】

また、本発明のうち請求項 3 に記載の発明は、プリント基板に配置されている部品に対して E M C を考慮した最適な配置がなされているか否かを計算する、プリント基板における部品の配置の計算装置において、プリント基板上に配置される部品に対して、部品の信号端子が持つ電気特性であるスルーレートの計算を行う第 1 の計算手段と、上記第 1 の計算手段により計算されたスルーレートと、部品の電源 / G N D 端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、該部品の電源 / G N D パターンに応じた推奨距離を計算する第 2 の計算手段と、上記第 2 の計算手段により計算された推奨距離と、部品の電源 / G N D 端子と

基準部品の端子との距離とに基づいて、推奨距離と部品が配置された距離との適合割合を計算する第3の計算手段とを有するようにしたものである。